

「空の境界」奈須きのこ

- ・謎解きが好きな人
- ・推理小説が好きな人
- ・グロい話が好きな人

におすすめです。とてもおもしろいので是非一度読んでみて下さい。(1-1 上野)

「1Q84」村上春樹

おすすめポイント

・とても深読みができる本です。
・読んでいるうちに、「1Q84年」の世界に引きずり込まれます。
・そして、だまされます。(1-6 野口)

「フェルマーの最終定理」サイモン・シン

偉大な発見をしてきた数学者たちの数学への熱意や数学へ取り組む様子が分かり、その発見がどのような意味を持つかを知ることができる、おもしろい本だと思います。(2-4 押野)

「オシムの言葉」木村元彦

オシムの言葉を紹介します。元日本代表監督イビチャ・オシムさんが代表の監督になる前に書いた本です。一時期世間で噂になった「オシム語録」が詳しくわかります。サッカー好きの人だけではなくスポーツに関わる全ての人におすすめします。きっと何かに気が付くことができると思います。是非みなさんも読んでみてください。(2-4 菊地)

「リアル鬼ごっこ」山田悠介

私が紹介する本は山田悠介の「リアル鬼ごっこ」です。この本の内容は、全国の佐藤さんが「鬼」に追いかけられ、捕まると殺されるというものです。結末にとっても驚かされました。機会があったら読んでみてはいかがでしょうか。(2-1 三田)

「殺人の門」東野圭吾

この本は、一人の少年とその友達との奇妙な関係を書いた本です。様々な登場人物がいますが、悪人だらけで、騙し合いの世界が書かれています。興味のある方は是非読んでみて下さい。(1-3 大谷)

「2005年のロケットボーイズ」五十嵐貴久

今回、紹介する本は2005年のロケットボーイズです。この本では、文系の生徒がちよつとしたことから人工衛星！？をつくることになるという話です。笑いあり、涙ありのおもしろい話なので、みなさん読んで下さい。(1-4 高橋)

「スイッチを押すとき」山田悠介

私が薦める本は、山田悠介さんの「スイッチを押すとき」です。この本は政府が作った、青年自殺抑制施設で完全に監禁されている子どもたちの運命を一人の監視員が変える話です。とても感動できる本なので、是非読んでみて下さい。(2-3 高橋)

「水滸伝」北方謙三

舞台は宋の時代の中国。国を変えるために立ち上がった108人の豪傑たちの物語です。フィクションですが、とても面白いのでぜひ読んでみて下さい。(1-6 橋本)

「ぼくたちと駐在さんの700日間戦争」ママチャリ

この本は、高校生たちが駐在さんにいたずらをするという馬鹿げた物語ですが、とてもおもしろいのでおすすめ。(2-2 荒川)

全冊貸し出しOK!

図書委員のおススメ本

＜読書週間＞を皆さんは御存じですか？秋も深まりとても過ごしやすいこの時期に、普段読書を敬遠してる人は勿論、すべての人々にとって本を読んでみるきっかけになればと作られました。「そんなことをいっても、どんな本を選べばいいかわからない…」と、思った人は今月号の図書委員がおススメする本を手にとってみてください。図書館には特設コーナーも設けてありますよ！



「蹴りたい背中」綿矢りさ

蹴りたい背中という本をおススメします。この本には、主人公である女子高生と似たような境遇である男子高生の心境の変化や心が成長していく様子が書かれています。とてもおもしろいので一度読んでみて下さい。(1-1 鈴木)

「ZOO 2」Zー

おすすめポイント

- ・多くのジャンル(短編集)。
 - ・最後のページで納得する。
 - ・伏線を伏線と思わせない。
 - ・犯人が最終的に決定されない(closet)
- (1-5 保坂)



「小説版：サマーウォース」岩井恭平

この本は、映画にもなったとてもおもしろい本です。映画で観たという人でも本しかない良いところがたくさんあります。また主人公の年齢が私たちと近く共感できることがたくさんあると思います。(1-5 石野)

「角川文庫版・走れメロス」太宰治

太宰の中期作品を纏めた短編集。上記作品以外に「富嶽百景」「畜犬談」「東京八景」などを収録。太宰中期の安定した作風を存分に堪能できる一冊。また、読みやすいフォントや親切的なルビも特長の一つです。(1-4 片岡)

「はてしない物語」ミヒャエル・エンテ

主人公はある日「果てしない物語」という本を見つけ、読み始める。読み進めていくと何かおかしくなってきた…(2-2 黒子)

「青空の卵」坂本司

日常の小さな謎を解いていく推理物。ひきこもり探偵の毒舌と周りの人物の温かさが上手く調和して和みます。ぜひご一読！(2-2 黒子)

「告白」湊かなえ

この本は、映画にもなり映画を観た人もいるでしょうが、原作を読んで違った観点で楽しんでみてはいかがですか。(2-1 池田)

「羅生門」芥川龍之介

この本は、著者の代表作であり、国語の教科書にも載るほどの名作です。じっくり腰を据えて読んでみると、奥が深くとても面白い作品なので、是非一度読んでみて下さい。(1-3 水谷)

「ハリー・ポッターとアズカバンの囚人」

僕が紹介する本はハリーポッターとアズカバンの囚人です。ハリポッターシリーズの中で、なぜ僕がこの本を選んだのかというと、一番ハリーが魔法使いとしても、人間としてもたくましく成長するからです。ぜひ読んでみてください。(3-4 猪野)

「春期限定いちごタルト事件」米澤穂信

ゆきと常悟朗は中学時代のあることをきっかけに「小市民」を目指すことに。しかし彼らの行動と反対に、周りでは事件が起きる。小市民をつらぬくのか、自分の性に従ってしまうのか。(2-5 若色)

「ビタミンF」重松清

一時の輝きを失い、人生の“中途半端”な時期に差し掛かった人たちに贈るエール。「また、がんばってみるか」心の中で、こっそり呟きたくなる短編七編。直木賞受賞作。ぜひ読んでみて下さい。(3-6 越雲)

「人間失格」太宰治

何も読む本がない人は、ぜひとも人間失格をおすすめします。ざっと言ってしまうと、太宰の人生を書いたようなものであり、私も夏休みに読んだのですが、なかなか難しかったです。しかし、読んでみる価値はあると思います。(3-3 磯)

「本だから、できること」岸本葉子

「何で自分は生きているのだろう」と思ったときに、読むと良い本かもしれません。作者自身のことが素直に書いてあり、読みやすかったです。(3-1 飯村)

「絶対読めない漢字」向笠修司

鰯

この漢字が読めなかった君は今すぐ図書室へGO！(3-3 阿部)

※難漢字画像引用元→「沈魚落雁閉月羞花」
<http://www.geocities.jp/f9305710/index.html>

「パーティミアス」ジョナサン・ストラウド

パーティミアスは三部作のファンタジー小説です。世界30カ国以上で出版されベストセラーにもなりました。分厚い本ですが割と読みやすかったのでファンタジーの好きな方は是非。(3-2 町井)

「人民は弱し 官民は強し」星新一

著者、星新一の父親、星一の伝記です。事業(製薬会社)ライバルと役人が結託して行う妨害活動にもめげず明るさを失わなかった生き様が書かれています。悲惨な話ではあるけれど、読みやすさと読後のさわやかさは病みつきになります。(2-6 永盛)



「グミ・チョコレート・パイン」大槻ケンヂ

高校生の大橋賢三は、ダメな自分を変えようとし、友人たちとバンドを結成する。同級生の山口美甘子に憧れを抱き、追いつこうとする賢三に少し勇気がもらえます。(3-1 市村)

「ベン・トー」アサウラ

半額弁当を巡る戦いの話、それが私がおススメする「ベン・トー」という本です。主人公の佐藤洋がサバゲー部と戦ったり、セガを布教したり、「死神」と遊んだりしながらHP同好会の仲間たちと半額弁当を求め、スーパーに向かっていきます。(2-3 小森)

「オリент急行殺人事件」アガサ・クリスティ

走行中の寝台列車で発見された惨殺死体。しかし、乗客には全員に完璧なアリバイがあった——。不可能犯罪に名探偵ポアロが挑む！驚きのトリック、感動のラストに乞うご期待！(2-6 山本)

「桜の森の満開の下・白痴 他十二篇」坂口安吾

諸君は坂口安吾を御存知であろう乎？御存知ない。それは大変残念である。そして諸君は坂口安吾の書いた「夜長姫と耳男」も御存知ないであろうか？ない。嗚呼。では夜長姫のことも御存知ないのであろう。実に残念至極である。(3-5 関)

「お目出度き人」武者小路実篤

「自分は女に餓えている」年齢26にして童貞の男の、ストーカー話である。相手は花の女学生。お目出たい考え方の男による不器用な行動に、可笑しさと切なさで控え目な笑いを漏らしてしまう、そんなお話。(3-5 関)

「夢をかなえるソウ」水野敬也

この本は感動できて、笑えて、自分の夢についても考えることもできます。普段本をあまり読まない人でも読みやすいので読んでみて下さい。(2-5 上野)

「少年少女飛行倶楽部」加納朋子

「空を飛ぶ」という目標に向かって、ワケあり部員たちが次々に現れる問題にもめげずに突き進んでいく物語です。登場人物の名前はどれも超個性的なので、そのことも併せて楽しんでください。(3-5 中川)

「キノの旅」時雨沢恵一

この物語は旅人である主人公が独自の法律や慣習を持つ国を見てまわる話です。人を殺しても罪にならなかったり国民全員が同じ国である理由などを人々の考えも含めて、第三者の目線で感じとることができる作品です。(3-5 赤羽)

「レインツリーの国」有川浩

きっかけは「忘れられない本」。そこから始まったメールの交換。共通の趣味を持った二人が接近するのにそれほど時間はかからなかった。しかし、彼女は会えないと言う。彼女には、そう主張せざるを得ない、ある理由があった——。(3-4 菅間)

「きみが見つける物語 大人の話編」

笑って、泣いて、怒って、泣いて。恋をして、失恋をして。本を読んだり、たいせつな存在と出会ったり。様々な経験が、君を大人にします。大人になった君の姿がきっとみつかる、がんばる大人の物語です。ぜひ読んでください。(3-6 山中)

